



射水市立太閤山小学校 学校だより

太閤山

令和6年度12月号

TEL 0766-56-3303

E-mail taikoyama-es@tym.ed.jp

ときめき・きらめき・はばたく 太閤山っ子

12月16日発行

2学期を終えるにあたり

2学期には、学習の発表会、持久走記録会、県西部研究集会、学習参観、PTA 教養講座、学校保健委員会（全校集会）、校内オリエンテーリング等、様々な行事がありました。また各学年では、校外学習等の活動もありました。2学期を終えるにあたり、改めて学校・学年だより、学校HPを開いてみると、伸び伸びと取り組む子供たちのたくましい姿がたくさん見られました。これも保護者の皆様や地域の皆様のおかげだと感謝しております。

さて、25日（水）から冬休みです。後日配布する「冬休みのしおり」や「たのしい冬休みにしよう！」等を確認していただき、有意義な冬休みになるようお願いいたします。また、ご家族そろって一年を振り返りながら、新しい年の目標について話し合う機会を設けていただきたいと思います。

それでは皆様、よいお年をお迎えください。1月8日（水）3学期の始業式で元気な子供たちに会えることを楽しみにしています。

自分事として捉え、考えを深めていく姿を参観

～ 学習参観（いのちの教育、メディアリテラシー）・作品展示・PTA教養講座 ～

11月19日（火）の第2回学習参観、作品展示、教養講座では、多数の方々にご来校いただきありがとうございました。今回は、今年度の重点目標「自分事として捉え、考えを深めていく」姿を目指して、「いのちの教育」や「メディアリテラシー」についての授業を行いました。

PTA 教養講座では、NPO 法人りばていー One 理事長 坂本美奈子先生に「自己肯定感を上げるコミュニケーション」と題し、心の安定や健康を保つためのメンタルヘルスについてご講演いただきました。保護者の方々から多くのご感想をいただきましたのでいくつかご紹介します。

【学習参観】

- ・休み時間も参観できたので、どんなことをして遊んでいるのか見ることができ嬉しかったです。（1年保護者、他学年）
- ・1学期の学習参観より、みんないきいきと取り組んでいて楽しそうでした。（1年保護者）
- ・10月末の痛ましい事故以降、学校の様子はどうかと心配していましたが、普段どおりの子供たちの元気な様子が見られて安心しました。（2年保護者）
- ・教室以外の授業（体育等の体を動かす）も参観できれば、また違った面が見られて楽しいのかなと思いました。頑張って仕上げた図工の作品を見ることができてよかったです。（2年保護者、他学年）
- ・色々な考えが出て、子供たちが自分で考えて発表していて活気があふれていました。（3年保護者）
- ・友達が発言する時、静かに待てるようになり、落ち着いて学習していて感心しました。（3年保護者）
- ・自分の考えをタブレットで送信するなど、授業構成がすごいなと思いました。（3年保護者）
- ・自分の考えを伝え合う子供たちの姿が見られました。（4年保護者）
- ・子供たちの考えて伝えている内容が成長してると感じました。（4年保護者）
- ・クラスの雰囲気がとても元気がよく、前向きな姿勢を感じました。（5年保護者）
- ・教室の中に入って参観することができ楽しい雰囲気を一緒に味わうことができました。（5年保護者）
- ・学習内容（メディア）が時代や学年に合ったとてもよい内容だったと思います。スマホを持たせる



- 時はトラブルに合わないよう、決まり事をきちんと決めることが大事だと思った。(6年保護者)
- 先生の使用している視覚教材はとても分かりやすかったです。(6年保護者)
- 親参加型であれば事前に伝えて欲しかったと思いました。(6年保護者)

【PTA教養講座】

- 坂本先生は気さくな方で、話は面白く、ユーモアあふれる内容で、飽きることなくあっという間でした。
- 子供たちの自己肯定感を上げるためには、大人の話しかけ方に気を付け、意識することが大切だと学びました。
- 自己肯定感を高める方法を見直すいい機会になった。子供たちと接する時間によりよい関係性を築けるよう、教えていただいた「欠点を長所に生かす言葉かけ」を心がけていきます。
- 子供たちへの接し方をすぐにでも実践できる内容で、今日から少しずつでも変えていこうと思った。
- 普段、こんな言い方をしているな、ごめんねと心の中で子供に謝りながら聞いていました。心の余裕をもち、子供と関わられるよう、努力したい。
- 普段、怒ってばかりなので、子供を勇気付ける言い方を意識して気を付けていきたいと思った。
- 帰宅後から、アイ(私が)メッセージを意識して関わっています。根気強く継続していきたいです。
- 褒めるだけでなく、勇気付ける事の大切さや肯定的な話し方を学びました。言い方一つなんだなと思いました。実際に実践してみると難しかったです、少しずつ心がけていきたいです。
- 『怒りの副作用』というフレーズに改めて親としてのアンガーマネジメントの重要性を再認識した。
- 子育てだけでなく、自分自身にも当てはまる話でした。
- 自分のことは後回しでしたが、「私のプレジャーリスト24」を帰ってから再度考えて書きました。
- 性格は年齢の月数分の会話の内容で変わるという話を聞いて、まだ直せると思い、安心しました。
- もっと長い時間しっかり聞きたいなと思いましたが、企画内容を考えるとちょうどよいのかなと思います。大人になるとなかなか学びの機会がないため、来年も開催いただけると有り難いです。
- 正直、子供と下校する隙間時間だったので、参加したのですが、貴重なお話を聞くことができ大変有意義な時間でした。
- 講座の前に校長先生から、先日の痛ましい事故に関して今一度学校での対応について話が聞けてよかったです。安心メールでも幾度も説明がありましたが、保護者としてさらに安心できました。



ふるさとの歴史を知る ～地域振興会長さんの講話～

11月26日(火)、小学校のふるさと学習のまとめとして6年生が、橋下条・太閤山の地域振興会長さんから地域の歴史を聞きました。学校支援コーディネーターさんの企画です。子供たちは、初めて知る地域の昔の様子を興味深く聞くとともに、ふるさとを愛する会長さんの熱い思いを感じ取りました。

この企画を通して、子供たちには「ふるさと太閤山小」でいろいろな思い出をつくり、やがて大人になった時、「ふるさとに戻ってみようかな」と思える、そんな太閤山小でありたいと思いました。



【寺林会長さん】



【森田会長さん】

縦割り班の絆を深めて ～校内オリエンテーリング～

12月13日(金)、縦割り班で校内オリエンテーリングを行いました。20個の文字を見付けキーワードを考えたり(40点)、「ときめききらめき・はたきクイズ」(120点)やしりとり(15点)をしたり、フラフープ渡し(10点)や「♪歌えバンバン」を工夫して歌ったり(15点)…。

終了後、ランチルームで大集合し、全校児童で給食を食べ、成績発表・授賞をしました。班の絆が深まった楽しいひとときでした。



【班で考えた振り付けで歌う♪】